投　稿　規　程

茨城県立医療大学紀要は，本学の研究者に知的情報交流の場を提供すべく，さらにはこれら研究成果を国内外に発信させるべく，論文の投稿を歓迎する。投稿の締め切りは研究・学術メディア委員長が別に定める。

(1) 本誌への投稿は茨城県立医療大学紀要発行に関する規程（平成7年4月6日医療大訓第29号）に従い，第5条に該当するものが投稿できるものとする。
(2) 本誌は原則として投稿原稿により構成されるが，一部依頼原稿を含むことがある。
(3) 原稿の区分と内容は，以下のとおりとする。
  1) 総説；研究，調査論文の総括，および解説
  2) 原著；独創的な研究論文および観察等
  3) 報告；症例および実践報告等
  4) 資料その他；有用と思われる情報，資料
  5) その他編集委員会が認めたもの
(4) 希望する投稿区分を表紙に明示すること。
  投稿原稿の採否は，編集委員会が査読者の意見により審議し決定するが，修正を求められた場合は指摘された事項に対応して回答し，再提出すること。
(5) 本誌への投稿を希望する者は，事前に投稿申請を行うこと。申請者は，著者名（共著の場合は全部）と表題名を，編集委員会に伝えること。申請の受付期間は，研究・学術メディア委員長が別に定める。
(6) 研究・学術メディア委員会で投稿申請を確認後，著作権の確認のため，申請者へは投稿承諾書が配布される。申請者は投稿承諾書に署名押印のうえ，投稿原稿一編につき一部を研究・学術メディア委員会に提出すること。掲載決定後，投稿承諾書は事務局が保管する。
(7) 本誌に掲載された論文等の著作権は，茨城県立医療大学に帰属する。
(8) 本誌に掲載された論文等の著者は，自己の論文等を自ら使用，公表またはこれを翻訳，翻案して利用することを妨げない。
(9) 人間を対象とした研究の場合は，本学研究倫理委員会の承認，もしくは他の機関の倫理委員会（同等の機能の組織で可）の承認を必須とし，承認番号等も明記することすること。倫理審査を要しない研究では，倫理的配慮をどのように行ったか，対象者からのインフォームドコンセントをどのように得たか等を必ず記載する。実験動物を用いた研究の場合は所属機関の取り扱い指針に従ったものであること。

投稿に関する一般的事項

(1) 原稿は，電子媒体により，1部提出する。ただし，表紙のみ，正（オリジナル）と副（コピー）の2種類を提出する。
(2) 投稿に関しては，著者全員が本学紀要への投稿を承認していること。投稿原稿はこれまでに未刊行であり，他誌，他書における刊行予定がないものに限る（重複投稿の禁止)。また，例え部分的であっても他人の著作から文章，語句，筋，思想，データ，図表などを，引用元を明記せずに自分のものとして用いた論文でないこと（盗用・剽窃の禁止)。
(3) 希望査読者（所属先名，電話，ＦＡＸ番号を添付）を申し出ることは可能であるが，その採否は編集委員会による。
(4) 投稿原稿が本学紀要に採択された段階で原稿の電子媒体を提出すること。
(5) 原稿を執筆，投稿する場合，別に定める『茨城県立医療大学紀要執筆ガイドライン』を十分，参照すること。
(6) 英文抄録及び英文論文による投稿については，専門業者による英文校閲を受け，その証明書を添付すること。
(7) 和文論文は英文の抄録，英文論文は和文の抄録を付けること。

Presented by Medical*Online

和 文 投 稿

(1) 書式と体裁に関する一般的事項

1) 日本語ワードプロセッサーを用いること。A 4判，横書き，新かな使い常用漢字を用い，数字，アルファベットは原則として半角文字，外来語はカタカナとする。1ページ23字21行，上下左右の余白は20 mm以上，およそ30枚以内，図，表を含め刷り上がり8ページ以内とする。原稿には表紙，和文抄録，英文抄録，本文，文献，図，表，図表の説明が含まれる。

2) 本文中，引用文献は出現順に番号を付して用い，そのリストを文献の項に記載する。

3) 測定値単位はSI単位を用いる。たとえばmolar（M）はmol/Lに，mg/dLは mmol/Lに，cmはmmにする。これまでパーセントで表示していた単位（ヘマトクリット，など）はdecimal fractionで表示する。

現在，医用生物学領域でSI単位に変換しない測定値は血圧，酸素分圧，酵素活性，水素イオン濃度，温度，容積である。本文ではSI単位を用い，従来使用されている単位を括弧内に付記する。

4) 投稿原稿は1）表紙，2）和文抄録，3）英文抄録，4）本文，5）謝辞，6）文献，7）図表の説明，8）図，9）表，の順に整理して提出すること。

5) 論文に用いるフォントは，和文はMS 明朝，英字を使用する場合はTimes New Roman とする。フォントサイズは，論文の表題は14 ポイント，その他は12 ポイントとし，英数字は原則として半角を使用すること。

(2) 表紙

正（オリジナル）1部の表紙には以下を記載する。副（コピー）の表紙は著者名，所属，連絡先を除く。

1) 原稿の区分，論文の表題，著者名，所属

2) ランニングタイトル （簡略化した論文表題，25字以内）

3) キーワード（5語句以内）

4) 連絡先著者氏名，住所，FAX，電話番号，E-mailアドレス

(3) 和文抄録

和文抄録はこれのみで論文全体がわかるように目的，対象，方法，結果，結論を含み，400字以内で記載する。

(4) 英文抄録

英文論文提出に関する規程のAbstractの項を参照のこと。ただし，この場合は語数制限を350以内（スペースを含まない）とする。資料その他は，英文抄録は必須ではないが英文の表題を提出すること。

(5) 本文

1) 書式と体裁に関する一般的事項の指示に従う。

2) 原著論文は，序文，材料と方法（対象と方法），結果，考察の順に記載する。

3) 略号は本文，表，図において最初に使用された時点で説明を行う。

(6) 文献

1) 参照文献（引用もしくは参考にした文献）の著者名は全員を記載すること。

2) 参照文献は本文中にはじめて出現する順番に従って番号付けを行って正確に記載すること。

3) personal communication，未発表データ，投稿中の原稿は文献に加えないこと。これらは本文中で（未発表データ，20××）と記載する。

4) 抄録は，それが唯一の情報源であるときに限り引用可能で，その際は，文献の項で抄録と明示する。

5) 印刷中とする文献は，雑誌名ないしは出版社名を記載すること。

6) 文献の記載例を示す。英文文献の詳細については，英文投稿規程も参照のこと。

雑誌の場合

書誌要素：著者名．表題．雑誌名．発行年（西暦），巻数（号数），頁－頁.

なお，雑誌の名称は略名が定められているものについては，その略名を使用する。

例1： 甲斐靖幸．電子文献を参照した場合の参照文献の書き方．情報管理．1996，39(5)，354-358.

Presented by Medical*Online

例2： Donahue JG, Munoz A, Ness PM, Brown DE Jr, Yawn DH, McAlister HA Jr, Reitz BA, Nelson KE. The declining risk of post-transfusion hepatitis C virus infection. N. Engl. J. Med. 1992, 327(6), 369-373.

単行本の場合

書誌要素：著者名. 表題. 編者. 発行所（所在地），発行年（西暦），頁－頁（参考文献の場合は省略可）.

電子文献の場合

電子文献とは，電子雑誌，電子図書，電子形態の論文集，WebサイトやWebページ，データベース等を指す。

ただし，パーソナルな電子メールや投稿中の電子論文，未発表のデータ等については，本規定（6）の3）により，参照文献として認められない。

ａ）電子雑誌

書誌要素：著者名．表題．雑誌名．発行年（西暦），巻数（号数），頁－頁．（媒体表示）．入手先（オンラインの場合），入手日付（オンラインの場合）.

例1： 植松貞夫．北欧の公共図書館における貸出返却のセルフサービス化．図書館情報大学附属図書館報．1997，3(2)，（オンライン）.
http://www.ulis.ac.jp/library/Kanpo//Vol13No2/uematsu.html，（参照1999-03-03）.

例2： 坂口竜己，森島繁生．画像の2次元離散コサイン変換を利用した実時間顔表情認識．電子情報通信学会和文論文誌－D．1997，J80－D2(6)，1547-1554．（CD-ROM）.

例3： Takeshi Arai, Shuichi Obuchi, Motonaga Kojima, Satoshi Nishizawa, Yuko Matsumoto, Yasuko Inaba. The relationship between age and change in physical functions after exercise intervention. Trainability of Japanese community-dwelling older elderly. Journal of the Japanese Physical Therapy Association. 2009, 12(1), 1-8. (online).
http://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpta/12/1/1/_pdf/-char/ja/,（参照2010-03-03）.

ｂ）電子図書

書誌要素：上記の単行本の書誌要素に，媒体表示，入手先，入手日付を加える。

ｃ）Webサイト，Webページ

書誌要素：著者名．表題．Webサイトの名称．入手先，参照日付.

(7) 図とその説明

1） 使用活字，記号はサイズとスタイルを統一する。
2） 各図には，図の番号を付ける，
3） 顕微鏡写真には尺度を付ける。
4） 各図の説明を別紙にまとめて記載する。
5） 図中に略号，記号が標記されている場合は，その図中あるいは図の説明において，それらの説明をする。

(8) 表

1） 表ひとつを1枚のページに作成する。表番号はアラビア数字で表記し，ピリオドを付す。
2） 表中で用いる記号は，以下のものが望ましい。

＊，†，‡，§，‖，¶，#，＊＊

(9) 筆者の支払い負担

別刷りに関わる費用。

令和4年5月10日改正
研究・学術メディア委員会

Presented by Medical*Online